

# 自主・友愛・剛健



## 3年生の成長した姿に…

3月11日(金)に、町教育委員さんや保護者の皆さまに見守られながら、3年生52名が巣立っていきました。

今年の卒業生は、中学1年生の3学期から新型コロナウイルスに、2年以上にわたって苦しめられてきました。“新しい生活様式”と言われる制約の多い学校生活の中で、多くのストレスと戦いながらも、何とか乗り越えようと懸命に努力をしてきました。直接、人と関わるのが減り、友だち関係の構築も、そして学習も自分の力で充実させてきました。ひょっとすると、コロナ禍だからこそ大きな力をつけることができたのかもしれない。今後も自分の力を信じて新しい生活を進んでもらいたいと思います。

卒業生代表の原田くんが答辞の中で、周りの人へ対する感謝をたくさん述べていました。一人ではなく周りの人との関わりにおいて、自分たちが成長したのだと…。原田くんの伝え方にも、何名かの方から賞賛の声を聞かせていただきました。本当に素晴らしかったです。式辞でも自分のことだけでなく周りのことを意識しながら次のステージへ進んでほしいと願い、次のような話をしています。



### ～式辞より(一部抜粋)～

報道でもご存じの通り、今現在、世界では、とてつもなく恐ろしく、悲しい出来事が起こっています。今後も身の回りで、いつ何が起こるかわからない時代になっています。そこで一つだけ「行雲流水」という言葉を取り上げて、お話ししたいと思います。「行雲流水」とは、行く雲と書き、雲が風の吹くままに動く様子を、また、流れる水と書き、川の水がその姿を変えて、あるがままに流れていくように、自然の流れに従う様子を表しています。物事に執着することなく、自然のままに身を任せることのたとえとして使います。これからの人生、目標を掲げて毎日を過ごすことは、生活にハリを与え、充実感を得るのに必要なことです。しかし、多くの人と関わることによって作られる流れもあるはずで、その流れに逆らってまで、自分の目標を貫くことは難しい時もあります。行き詰まったら、一度流れに身を任せてみるのもよいのではないのでしょうか。他人任せや行き当たりで物事を進めることではありません。自分を取り巻く環境は、いつまでも同じではありません。大きな流れに身を任せながら、臨機応変に目の前のことに懸命に取り組むことで、新しい流れを生んだり、良い方向に変えることができると思います。皆さんの今後のご活躍をお祈りします。

例年なら卒業式の日には、校門横の『河津桜』がほころび始めていますが、今年は寒さのせいか、卒業式当日はつぼみもありませんでした。最近になって、やっと花が開きはじめています。つぼみのひとつひとつが、まだまだ気温が低くて今咲いてはならないと考えていた

かのように。卒業生の皆さんも、在校生の皆さんも周りの“流れ”を感じながら、目の前のことに臨機応変に取り組んでみてください。



## 1年生“職業調べ”で家族にインタビュー！（第2弾）

先月も掲載しましたが、1年生の『“職業調べ”で家族にインタビュー！』で、“将来、就きたい職業”について、家族へのインタビューも含めて本やインターネットで調べ、タブレットでまとめました。今回は、自分自身の将来について考えたことを、振り返りを通じてお知らせします。

- 私は、今まで自分の将来とか深く考えたことがなかったけど、今回の職業調べで母の職へのやりがいや大変なことを聞いて、自分にも来る「就職」ということを考えるきっかけになりました。まだ、“好き”を仕事にしたい！”と考えているだけで、もっと細かいことは自分でも見つけられていないから、これから大人になるまで自分が就きたい仕事を見つけれればいいな…と思いました。
- “働く”ということは、みんなのためになるということは思っていたけれど、みんなのためになると自分もうれしくなることは、今回の学習を通じてしか分からなかったと思いました。（中略）また、農業を調べたときには、少ない収入でも、今の生活に満足されている方について読み、大切なことは収入の他にもあるのだなと感じました。

【4月の主な行事】※詳細につきましては、“中央中学校ホームページ”をご確認ください

7日：始業式    8日：入学式（午後）    12日：1年交通安全教室  
12日：新入生オリエンテーション    15日：退任式    20日：職員会議  
18日：PTA評議員会・三役会    21～22日午後：家庭訪問（希望者のみ）  
30日：参観日・PTA総会（5/2：振替休業）

### つばやき…

【修了式より】1・2年生が入学前の令和2年4月の1学期始業式で、『どのようにすれば自分が“笑顔”になれるのか、そしてみんなが“笑顔”になれるのか、ぜひ考えてみてほしいと思います。』とお願いしました。答えは人それぞれ…。笑顔になるって非常に難しいことかもしれませんが、相変わらず新型コロナウイルスの影響でマスクをしていても、ずいぶん“笑顔”は増えたように感じます。誰だって、明るい笑顔で楽しい人の近くにいたいと思うものです。今年度も、もうすぐ終了しますが、4月から新しい学年でさらに“笑顔”あふれる年にしていきたいですね。心の中に、ワクワクする楽しいこと、幸せなことを見つけてください。もし、心の中に不平・不満や悪口が浮かんでも、常に前向きに楽しいことばかりを口にするようにしていけるといいですね。 **やっぱり、“笑顔”に勝るものなし！**